

IoT住宅など補助 11月30日まで提案募集



国土交通省は11月2日、「サステナブル建築物等先導事業(次世代住宅型)」の今年度第2回の公募を開始した。

同事業は、インターネットであらゆるモノをつなぐ「IoT技術」などの活用により、住宅の市場価値や居住環境の向上などを図る先導的なプロジェクトを支援するもの。

11月30日まで募集する。戸建て住宅の補助限度額は300万円/戸。1月をめどに採択事業の公表が行われる。

情報提供: 国土交通省

外観アクセントになる宅配ボックスを発売

YKK・APは、求めやすい価格設定と5色のカラーバリエーションが特徴のシンプルレオシリーズ「ポストィモ 宅配ボックス1型」を10月31日から順次発売する。

宅配ボックスはスチール製で、受け取り可能サイズは80サイズ(幅+高さ+奥行=80cm)、20kgまで。

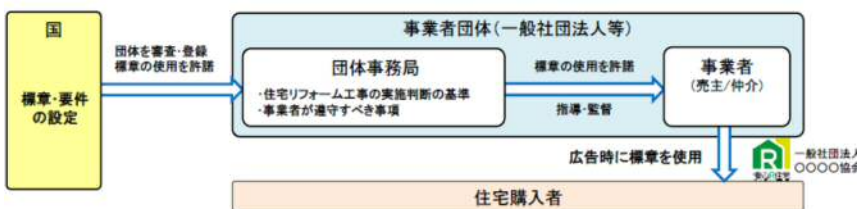
プラチナステン、カームブラック、ホワイト、レッド、オレンジの5色を用意し、とくにレッドやオレンジのビビッド色は住宅外観のアクセントになる。

納まりパターンは、3種類で(1)リフォームで手軽に追加設置が可能な「宅配ボックス納まり」、(2)新築向けの「郵便ポスト+宅配ボックス納まり」、(3)新築向けで、郵便ポストやインターホンと一体化した「機能ポール納まり」。



情報提供: YKK・AP

12/1より、「安心R住宅」の事業者団体の登録申請の受付が開始されます



「不安」「汚い」「わからない」といった従来のいわゆる「中古住宅」のマイナスイメージを払拭し、**既存住宅の流通を促進するため、「住みたい」「買いたい」既存住宅(「安心R住宅」)**

の事業者団体登録制度(特定既存住宅情報提供事業者団体登録規程)が11/6に公布され、12/1より施行されます。

また、関連補助事業により普及に向けた支援が行われます。

情報提供: 国土交通省